

たすけあい名古屋

通信第150号

福祉は地域の総合サービス業

介護市場は拡大の一途をたどっています。2017年のデータによれば、全国の要介護人数は629万2,122人。最も多いのはやはり東京で57万228人に上ります。次いで多いのが大阪で49万694人。以下、神奈川37万2,465人、北海道31万5,852人、兵庫29万4,135人といった結果が並んでいます。

厚生労働省が2014年に発表したデータから、都道府県別の要介護認定率も調べてみました。要介護認定率とは、被保険者に対する要介護者の比率の数値です。全国平均は17.9%で、これを基準に考えると、関東1都6県は東京の18.0%を筆頭に14~17%台に集中していて比較的low、高齢化がまだ進んでいないとも言えます。中部9県が15~18%台で、その他の地域はほとんど18~20%台で、特に中国・四国・九州は宮崎(18.0%)を除いてすべて19%以上という結果でした。ちなみに最も高いのは和歌山で22.1%、最も低いのは埼玉で14.1%でした。

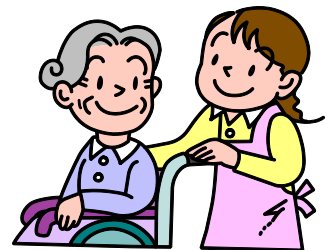
この結果をもとに、各都道府県の有料老人ホームとサ高住の定員数の合計と、要介護人数の比率を計算してみたところ、面白い発見ができました。算出された数値が、要介護の人が施設入居できる割合(すなわち数値が高いほど入居しやすい)となります。(ただし、ここで対象としているのは、有料老人ホームとサ高住の2種類であることに注意が必要)。

計算によると、全国で最も数値が高かったのは宮崎で18.41%でした。以下、大分17.69%、沖縄16.32%、青森14.12%と続きます。全国平均では8.98%、東京は13位で8.96%という結果でした。つまりは地域での介護を伴う福祉活動は、東京や首都圏ではまだまだサービスが足りておらず、地方では充足しつつあるという現状がみてとれます。施設重視なのか?在宅サービス重視なのか?地方によりその実情がリアルにみてとれます。介護事業者の主な収入源である介護給付費は、16年度に約9.7兆円で、この10年間で約6割増えています。

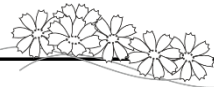
国は介護保険改定などを通じて介護給付費の抑制に努めています。介護報酬一本槍の一つの収入源に頼らず、自費サービスも含む経営の安定を求めています。事業者として、福祉領域の多面化、複層化が求められています。その一方で、人材不足による事業者の事務所閉鎖の話も、今後あたりまえになると予想しています。人がいなければ、各種福祉事業を継続することは困難です。

「たすけあい名古屋」では、①人材育成、確保 ②収支改善、ICT化の推進 ③コンプライアンス重視 を推進して参ります。

ICTやAIは人の仕事を奪い、侵食していくものではなく、人をやさしくするもの。人の強みを再確認するもの。人じゃなければ成し得ないことの整理をして明確にしていくこと。ICTやAIは人と対立するものではありません。「たすけあい名古屋」は人に優しいICT化の推進をなしえ、更なる収支改善を目指します。その収支改善の結果を①の人材育成、確保に投資し、経営の好循環を働く職員がより実感できるよう、人材の育成にも力をいれて参ります。「福祉は地域の総合サービス業」です。これからも努力してまいります。(代表理事 熊田 光臣)



富田さんは、「たすけあい名古屋 介護みどり」を長年ご利用下さいました。現在は、老人ホームで過ごしてみえますが、たすけあい名古屋に「老々介護の末の選択」とした文をご寄稿頂きました。ありがとうございました。



「老々介護の末の選択」

富田 貞枝

本当の老々介護は経験した者でないと理解出来ないかもしれません。主人が八十九歳、私が八十八歳、長い介護に疲れ果て自分の身体を維持さえ出来なくなり、「もうこれまでか」と決心した時、主人の胸に縋って「お父さん一緒に死にたいね」と泣きました。「お前と一緒に死ねたら俺も嬉しいなあ…」と抱き合って泣きました。

死ぬことばかり考えていた日々ですから、主人は余り苦しみもなく「ありがとう」と言ってお別れしてしまいました。私のショックと悲しみは言葉に言い表すことが出来ません。死期を知らせてくれなかった先生は、私への思いやりで知らせて頂けなかったのです。無理をし続けた私は葬儀が終わり次第入院。食事も喉を通らず唯々泣くばかりでした。

そんな私を勇気付けたのは、きっと日本の中には私一人じゃない、私のように老々介護に苦しんでおられる方は多い、それを考えるとベッドに寝ているわけにはいきません。退院し、自宅に戻ってからはヘルパーさん、デイサービスさんを利用して過ごしていましたが、体調を崩し、入退院を繰り返すことが続いたので、主人が生きていた時から興味を持っていた老人ホームのことを本気で考えることにしました。

たとえば、息子が、嫁が、「介護するから心配しないで。」と言われても、結果、介護疲れで家庭は崩壊に至るのではないですか。家族に世話をかけるより、介護職の方にみてもらえるのなら、家族共倒れにもなりません。自分らしく生きるためにも私は6か所の老人ホームを見学しました。自分に見合ったところを選ぶには、十分よく見学することです。

今では、誰にも迷惑かけず穏やかに生活出来るのが最高の幸せだと思います。

そうして、「殺人、自殺、心中などの悲しい事などはお止めなさい。」と心から叫びたいのです。

自分に合った老人ホームを見つけた後は、少しずつ荷物の片づけを始めましたが、高齢になってからの作業はとても苦勞します。わずかでもまだ体力の残っている内に、これだけのことができたのは良かったと思います。

今は、毎朝窓を開けてつぶやいています。青い空、夫の笑顔に「おはよう」と。



デイサービス鳴子だより

朝夕はだいぶ過ごしやすくなってまいりました。いかがお過ごしですか。

だいぶ暑さもやわらぐ9月。今回は前回大好評だった「100円ショップに行こう！企画第2弾」としてデイサービス鳴子のご利用者皆様で行ってまいります。様々なバリエーションの商品を皆さんで見つ選ぶ…とても楽しいお買物です☆追加、振り替え利用も可能ですので、お気軽にご相談下さい！

写真は8月開催の夏祭りにて行われた盆踊りです。懐かしい曲がかかると、皆さん自然と体が動きだし、踊りもばっちり！気づくと顔がニッコリ笑顔。とても大盛りあがりの夏祭りとなりました！（管理者 青木 一祥）



踊りもばっちりです！

鳴子のおひさま (小規模多機能) だより

8月22日(水)、朝から祭りの飾り付けをし、民謡・盆踊りの曲などが流れる中、ご利用者の期待度がぐんぐん上がっていくのが伝わってきました。昼食はいつもより早めに終わり、休息の後いよいよスタート!まず「かき氷」で和気あいあいとした雰囲気…。祭り気分になったところで、「輪投げゲーム」と「お手玉的当てゲーム」を楽しみました。景品のジュースとお菓子をゲットして笑顔いっぱいでした。普段レクリエーションに積極的でない方も職員の誘いに即参加され、みんなが笑顔になりました。



紐引きゲーム

また、「景品当て紐引きゲーム」で全員一斉に紐を引いて、自分に何が当たるか、わくわくドキドキ。口紅が当たった女性の方は、「わー」と声を出して嬉しそうでした。

おやつタイムを挟んで、最後に「炭坑節」を手の振り中心に踊りました。

皆さま最後まで元気に参加され、並んでパチリと撮った写真は笑顔いっぱいでした。(坂倉 行人)

生活介護・児童デイかるむ (障害者総合支援) だより

夏休みの企画として、生活介護、児童デイのメンバー合同で、守山区にある「アサヒビール」の工場見学へ行ってきました。

毎年夏休みに行っている「アサヒビール」。ビールの主原料となる麦芽やホップに実際に触れてみたり、出来上がったビールが缶に詰まるダイナミックな製造ラインを見てきました。製造ラインのあとはみんなが楽しみにしているドリンクの試飲時間。それぞれ好きなジュースを選び、スタッフもビールを飲みたいのをグッと堪え、お菓子と一緒にジュースを美味しく頂きました(笑)

帰った後はもらったパンフレットを見ながら「楽しかった～」と嬉しそうな声が聞こえてきました。(生活介護かるむ 服部友里恵)



天白福祉会館だより

8月29日(水)地域で活躍されている認知症予防リーダーさんのフォローアップ交流会で「笑いヨガ体験セミナー」を開催致しました。「笑いヨガ」とは、笑う動作を繰り返すことで横隔膜が上がり、身体が温まることによって、脳の活性化や免疫力強化の効果が得られます。つまり、笑いヨガとは笑う動作とヨガの呼吸法を組み合わせた健康体操と言えます。

実際に、24名の認知症予防リーダーさんは、講師の横山正子先生の指導により「アハハハ!」と全身で笑う動きから入り、「梅干し笑い」や「ソフトクリーム笑い」などの可笑しい型破りな動きを取り入れた笑いヨガを体験しました。参加したリーダーさんから「想像以上に体力を使ったけど、自由な感じで楽しかった!」「地域の高齢者サロンで、嚥下と口腔トレーニング兼ねたプログラムに笑いヨガを取り入れたい!」と多数の意見がありました。フォローアップとしては“初”の試みとなる「笑いヨガ体験セミナー」は、笑う時間を好きなだけ確保することができ、笑いの絶えない体験の場となりました。まさしく「笑う門には福来る」ですね!(立花 敦子)



「たすけあい名古屋 ふれあい祭り」

開催案内

お世話になった皆様方に感謝をこめて



たすけあい名古屋は「たすけあい名古屋 ふれあい祭り」を下記のように開催します。今年も催し物・バザー・おいしい物などのコーナーあります。お揃いでお出かけ下さい！

開催日時 **平成30年10月28日（日）（雨天決行）**
10:00～14:00

会場 「デイサービス鳴子」および「たすけあいカフェ（旧のんたん）」

❖ **お願い 新品・未使用品でバザーに寄付して頂ける品がありましたら、**
10月12日（金）までにご協力お願い致します。
※売上金は当法人の福祉活動に役立てさせていただきます。

お問合せ **たすけあい名古屋事務局まで ☎899-0833**

“たすけあいカフェ” オープンしました！

8月24日（金）午後1時半から鳴子地域初めての認知症カフェがオープンしました。大勢の方にお越しいただき、用意したパンがなくなるほどでした。また愛知高校の放送部の学生さんが総合文化祭のドキュメント番組制作のため取材にみえ、世代間の交流もありました。

これからも、皆様にお気軽にご利用頂ける憩いの場になればと思います。認知症の方やご家族の方、地域の方などどなたでもご利用可能ですので是非お越し下さい。



玄関付近



カフェ内部



毎月
第4金曜日
次回
9月28日
13:30～
15:30



ホームページをご覧ください

たすけあい名古屋

検索



特定非営利活動法人（認定NPO法人）たすけあい名古屋

代表理事 熊田 光臣

〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町四丁目13番地 愛知県住宅供給公社鳴子第1住宅

TEL 052-899-0833 FAX 052-899-0800

Eメールアドレス : info@tasukeainagoya.com